

○みどり市立学校の教育環境に関するアンケート調査の概要

1 調査目的

みどり市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会において、小中学校における学校規模の適正化や将来を見据えた学校配置の在り方、少子化に対応した魅力ある学校づくりなどについて検討する際の参考資料とするため、保護者、児童生徒及び教職員を対象として、小中学校の教育環境に関する調査を行うものです。

2 調査対象

保護者、児童生徒及び教職員合計 2,314 人

<内訳>

- | | |
|---------|-----------------------------|
| (1)保護者 | ・小学 5 年生 399 人 |
| | ・中学 2 年生（義務 8 年生） 413 人 |
| | ・令和 6 年度に小学校入学予定の未就学児 380 人 |
| (2)児童生徒 | ・小学 5 年生 404 人 |
| | ・中学 2 年生（義務 8 年生） 416 人 |
| (3)教職員 | ・小・中・義務教育学校 302 人 |

3 調査期間

令和 5 年 7 月 10 日(月)から令和 5 年 7 月 28 日(金)まで

4 調査内容

別紙のとおり ※参考資料として小学生保護者用を添付

「みどり市立学校の教育環境に関するアンケート調査」

－ご協力をお願い(小学生保護者用)－

みどり市では、平成22年1月に策定した「みどり市立小学校の学校規模の適正化に向けた基本方針」をもとに、大間々地区小学校の統廃合や東地区小中学校の義務教育学校への移行、笠懸小学校の分離・新設を行ってまいりました。しかし、少子化は今後も進み、児童生徒数の減少による小規模校化に向けて、さらなる検討と対応が必要となります。また、一方では学校施設の老朽化による大規模改修または建替を計画的に進める必要があります。

今後の検討・協議等については、行政が一方的に進めるのではなく、保護者や学校関係者地域住民の皆様の意見を尊重しながら進めていくことが大切であると考えます。

そこで、保護者の皆様から教育環境の在り方に対するお考えをうかがいたいと考え、下記のとおり保護者の方々を対象にアンケート調査を実施することといたしました。アンケートの結果をもとに、本年度より「みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会」を設置し、学校の適正規模や適正配置に関する基本的な考え方や魅力ある学校づくり等について、検討を進めていきたいと考えております。

つきましては、大変お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

【アンケート回答上の注意】

- 1 アンケートに回答する前に、次ページからの資料「みどり市立学校の現状」をお読みください。
- 2 アンケートは、GoogleForms（グーグルフォーム）による回答となります。
下記QRコードを読み取るか、URLよりアンケートフォームへお入り下さい。

アンケートフォーム URL: <https://www.〇〇〇〇〇/〇〇〇〇.html>

アンケート
QRコード

- 3 兄弟姉妹がアンケートの該当学年に複数いらっしゃる場合は、大変お手数ですが、すべての該当学年について回答をお願いします。

※アンケート該当学年 小学校5年生、中学校2年生（義務8年生）

幼稚園・保育園・認定こども園の年長組に在籍する保護者

- 4 調査についてのお問合せは、下記担当までお願いいたします。

みどり市教育委員会事務局 教育部 学校教育課

月～金曜日 9:00～17:00 電話:0277-76-9845(内線 203271)

令和5年7月 みどり市教育委員会

みどり市立学校の現状

1 みどり市立学校の現状

(1) これまでの取組と今後の計画について

本市の児童生徒数は、昭和57年度をピークに徐々に減少してきています。また、今後の児童生徒数の推計によると、今後5年間のうちに小学校7校中2校、中学校4校中2校が12学級未満となり、そのうち、小学校2校は1学年1学級となることが予測されています。

学校教育では、児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、認め合いながら協力し合い、切磋琢磨することで、一人一人が資質・能力を伸ばしていくことが重要です。しかし、学校の小規模校化により、教育環境や学校運営などに様々な影響を及ぼすことが懸念されています。

また、一方では学校施設の老朽化に伴う大規模改修または建替等の対応について、計画的に進めていくことが必要となっています。

これらの状況を踏まえ、本市においては、より良い教育環境の構築と質の高い学校教育の実現を目指した将来計画の策定を計画しています。

2 学校の標準規模について

法令上、学校規模の標準は学級数により設定されており、適正な規模としては、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされていますが、「特別の事情があるときはこの限りではない」という弾力的なものになっています。また、標準規模以下の学校といっても、実際には抱える課題に大きな違いがあるため、具体的にどのような教育上の課題があるのかを考えていく必要があります。さらに、同じ学級数であっても児童生徒の実数により、教育活動の展開の可能性や児童生徒への影響は大きく異なってくるため、様々な観点から総合的な検討を行うことが求められます。

(1) 一般的な学校規模の分類（数字は学級数）※特別支援学級数を含まない。

※「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」（平成27年文部科学省）から作成

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模
小学校	1～5	6～11	12～18	19～30	31～
中学校	1～2	3～11	12～18	19～30	31～
義務教育学校	1～8	9～17	18～27	28～34	35～

(2) みどり市立学校の規模別学校数（令和5年5月1日現在）

学校規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模
小学校	0	2	5	0	0
中学校	0	3	1	0	0
義務教育学校	1	0	0	0	0

3 児童生徒数の推移と今後の推計

(1) 学校規模の分類

学級数	過小規模	小規模	標準規模		大規模	過大規模
				学校統廃合の 場合の許容範囲		
小学校	1～5	6～11	12～18	19～24	25～30	31以上
中学校	1～2	3～11	12～18	19～24	25～30	31以上
義務教育学校	(1～8)	(9～17)	18～27	(28～36)	(37～45)	46以上

(2) 令和5年度と令和11年度におけるみどり市立学校の学校規模

<令和5年度> (R5.5.1現在)

学校規模	過小規模	小規模	標準規模	大規模	過大規模	合計
小学校数	0	2	5	0	0	7
中学校数	0	2	2	0	0	4
義務教育学校	1	0	0	0	0	1

<令和11年度>

学校規模	過小規模	小規模	標準規模	大規模	過大規模	合計
小学校数	0	3	4	0	0	7
中学校数	0	3	1	0	0	4
義務教育学校	1	0	0	0	0	1

※ 小学校では、単学級となる学年のある学校が、令和5年度は2校、令和11年度には3校となる予測です。学級数の減少により、配置される教員数も減るため、教科担任制やきめ細かな指導を行うための教員配置が難しくなっています。

※ 中学校でも、令和11年度には単学級となる学年が出てくる見込みです。小学校と同様に配置される教員数の減少により、各教科や部活動を担当する教員の配置が非常に難しくなっています。

(3) みどり市の児童生徒数の推移（抜粋）

単位：人

	平成18年度	平成25年度	令和5年度	令和15年度予測
児童数	3,132	3,061	2,335	1,748
生徒数	1,511	1,546	1,299	1,022
合計	4,643	4,607	3,634	2,770

(4) みどり市の人口推移と今後の予測（抜粋）

単位：人

	平成7年	平成17年	令和5年	令和17年予測	令和27年予測
人口	50,983	50,906	49,074	43,181	38,280

※資料をご確認いただいた後、本通知のトップページにあるQRコードまたはURLよりアンケートフォームに入り、回答をお願いします。

「みどり市立小中学校の教育環境に関するアンケート調査」

－ 調査用紙(小学生保護者様用) －

1 通っている学校について

【問1】あなたのお子様が通っている小学校または義務教育学校前期課程の名前を一つ選んでください。

- ① 笠懸小 ② 笠東小 ③ 笠北小 ④ 笠西小
⑤ 大北小 ⑥ 大南小 ⑦ 大東小 ⑧ あずま小中

2 学級の人数とその印象について

【問2】あなたのお子様の学級には、何人の児童がいますか。あてはまる人数を一つ選んでください。

- ① 1～10人 ② 11～20人 ③ 21～30人 ④ 31～35人

【問3】あなたのお子様の学級の児童数について、どのように感じていますか。その印象として、あてはまるものを一つ選んでください。

- ① 多い ② ちょうどよい ③ 少ない ④ 分からない

【問4】あなたは、小学校の1つの学級における児童数は、何人くらいが適切だと思いますか。あてはまる人数を一つ選んでください。

- ① 1～10人 ② 11～20人 ③ 21～30人 ④ 31～35人
⑤ 分からない

3 学級数について

【問5】あなたのお子様の学年には、学級がいくつありますか。あてはまる学級数を一つ選んでください。

- ① 複式学級 ② 1学級 ③ 2学級 ④ 3学級
⑤ 4学級 ⑥ 5学級以上

※複式学級とは、小中学校において二つ以上の学年の児童生徒をひとまとめにした学級のことです。

【問6】 お子様の学年の学級数について、あなたはどのように感じていますか。あてはまる印象を一つ選んでください。

- ① 多い ② ちょうどよい ③ 少ない ④ 分からない

【問7】 あなたは、小学校の一つの学年にはいくつの学級があればよいとお考えでしょうか。あてはまる学級数を一つ選んでください。

- ① 複式学級 ② 1学級 ③ 2学級 ④ 3学級 ⑤ 4学級
⑥ 5学級以上 ⑦ 分からない

4 通学環境について

【問8】 あなたのお子様の通学にはどれくらいの時間がかかりますか。あてはまる時間を一つ選んでください。

- ① 15分未満 ② 15分～30分未満 ③ 30分～45分未満
④ 45分～60分未満 ⑤ 60分以上 ⑥ 分からない

【問9】 あなたのお子様は、主にどういった方法で通学しているでしょうか。あてはまる方法を一つ選んでください。

- ① 徒歩 ② スクールバス ③ 公共交通機関 ④ 自家用車で送迎
⑥ その他

その他

【問10】 小学生にとって通学の限度(最長)と思われる時間は次のどれでしょうか。あてはまる時間を一つ選んでください。

- ① 15分未満 ② 15分～30分未満 ③ 30分～45分未満
④ 45分～60分未満 ⑤ 60分以上 ⑥ 分からない

【問11】 小学生が通学するのに考えられる方法は次のどれでしょうか。あてはまる方法を全て選んでください。

- ① 徒歩 ② 自転車 ③ スクールバス ④ 公共交通機関
⑤ 保護者送迎 ⑥ その他

その他

5 学校規模に関わる教育環境について

【問12】あなたが小学校に期待することは何でしょうか。ご自身の考えに近いものを次の選択肢から二つ選んでください。三つ以上ある場合でも、上位二つに絞ってお答えください。選択肢の中に答えがない場合や、その他の考えをお持ちの場合は「その他」をマークしてください。

- ① 児童どうしの人間関係が深まりやすく、親友をつくることができること。
- ② 教員の目が行き届き、早い段階で問題に対応できること。
- ③ きめ細かな観察により、教員が児童一人一人に必要な指導を行えること。
- ④ 学校行事等で、児童一人一人の登場場面が多く、活躍できること。
- ⑤ 施設、設備が余裕をもって利用できること。
- ⑥ クラブ活動や委員会活動などの選択幅が広く、やりたいことがやれること。
- ⑦ クラス替えで人間関係の幅が広がり、たくさんの友達ができること。
- ⑧ 個に応じた多様な学習環境で学びを深められること。
- ⑨ 多様な意見に接することで人間の幅を広げることができること。
- ⑩ 多数の同級生と切磋琢磨しながら学力や体力を伸ばせること。
- ⑪ その他

その他

【問13】小中学校の小規模校化への対応として、学校の統合を進めている自治体もあります。このような対応についてどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

- ① 賛成 ② どちらかという賛成 ③ どちらかといえば反対
- ④ 反対 ⑤ 分からない

【問14】みどり市の教育環境の充実や学校規模の適正化・適正配置等についてお考えになっていることがありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述

★以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。